



11

筑波大学附属病院

病院の概要

開設	1976年3月
開設者	国立大学法人筑波大学
院長名	原 晃
病床数	800床
標榜科 (37科)	内科、リウマチ科、アレルギー科、腎臓内科、泌尿器科、血液内科、感染症内科、呼吸器内科、呼吸器外科、消化器内科、消化器外科、臓器移植外科、内分泌・代謝・糖尿病内科、乳腺・内分泌外科、循環器内科、心臓血管外科、腫瘍内科、神経内科、脳・神経外科、精神科、小児科、小児外科、産科、婦人科、救急科、麻酔科、形成外科、整形外科、リハビリテーション科、皮膚科、眼科、耳鼻いんこう科、頭頸部外科、放射線治療科、放射線診断科、病理診断科、歯科口腔外科

指導医数 | 260人

指導医数 | 120人

研修医の主な出身大学 | 筑波大学、山形大学、秋田大学、東京医科大学、獨協医科大学、日本大学、東邦大学、杏林大学、埼玉医科大学、東京女子医科大学、弘前大学、富山大学、山梨大学、信州大学 他

外来患者数 | 1,816人／日

入院患者数 | 709人／日

募集要項

応募資格 | 2022年3月国家試験合格見込者
採用人数 | 86人(一般)2人(小児特別)2人(産科特別)(予定)
試験日程 | 2021年8月中旬～下旬頃
選考方法 | 面接、OSCE

処遇 ■身分：医院(研修医)
■給与：1年次基本給9,500円/日
その他諸手当等を含む年収約300万円(時間外勤務手当は別途支給)
2年次基本給9,500円/日
その他諸手当等を含む年収約300万円(時間外勤務手当は別途支給)
■社会保険：有り
■宿舎：有り
■その他：

病院見学対応状況

■見学時間…随時(平日)
■対象…全学年
■宿泊…可能 学内宿泊施設等
料金：2,600円～3,700円
■問い合わせ先
担当者：病院総務部総務課
(総合臨床教育センター係)
TEL：029-853-3516、3523
E-mail：kensyu@un.tsukuba.ac.jp



応募・問合せ先

筑波大学附属病院

〒305-8576 茨城県つくば市天久保2-1-1
担当者：病院総務部総務課 総合臨床教育センター係
TEL：029-853-3516・3523
FAX：029-853-3687
E-mail：kensyu@un.tsukuba.ac.jp
URL：http://www.s.hosp.tsukuba.ac.jp



■JR常磐線・ひたち野うしく駅東口(1番のりば)から関東鉄道バス(筑波大学中央行)で「筑波大学病院入口」(30分)下車。又は(つくばセンター行)で終点(25分)下車後、乗り換え※
※「つくばセンター」での乗り換え：6番のりばから、「筑波大学循環(右回り)」又は「筑波大学中央」行きのバスで約5分、「筑波大学病院入口」で下車

女性医師支援

筑波大学では育児中の女性支援に積極的に取り組んでいます。初期研修では産休・育休の取得、附属の保育園の利用、病児保育の利用が可能です。後期研修ではさらに短時間勤務制度が可能です。また、初期研修中でも専門研修中でも教育センター専任教員が出産・育児にあわせた研修カリキュラムの調整や相談対応を個別に行っています。



研修プログラムの特色

幅広い研修の選択肢と魅力ある病院群で、一人一人にあった研修が可能であることが特徴です。2020年から開始した新プログラムでも今までと同様に、必修科目、選択科目それぞれに大学病院と市中病院を選択することができます。大学病院を中心に研修をしたい場合は地域医療研修期間(4週間)以外の全てを大学で研修を行うことも可能であり、市中病院を中心に研修したい場合には最大15ヵ月を協力病院で研修することが可能です。大学病院ではプレゼンテーションや多科合同のカンファレンスなどを通して1例1例を深く掘り下げて学ぶことができ、協力病院にてcommon diseaseを数多く経験することができます。

また、外来研修として半年間週1回という研修形式で診療所で研修することが可能です。診療所研修で在宅医療の経験や医療の継続性・保健・医療・福祉の連携などについて研修することができます。一般プログラムの他、小児科特別プログラム、産科特別プログラム、研究医特別プログラム(2022年度～)があります。(特別プログラムの詳細は個別にお問合せください)

研修スケジュール例

例1 幅広く様々な科で研修

1 年 次												2 年 次												
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
内 科 (院外)			救 急 (院外)			内 科			整 形			麻酔科		産婦人科		小児科 (院外)		皮膚科 (院外)		精神科		地 域		外 科 (院外)
												外来研修 (診療所週 1 回)												

例2 専門分野(耳鼻咽喉科)を重点的に研修

1 年 次												2 年 次													
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
耳鼻科		救 急		麻酔科		内 科 (院外)						地域＋選択		小児科 (院外)		産婦人科 (院外)		耳鼻科 (院外)		精神科		耳 鼻			
												外来研修													

※すべての診療科で選択研修が可能です。県内すべての基幹型研修病院と連携しています。

※研修スケジュールは個別に希望調査の上、総合臨床教育センター専任教員が個々の希望を調整しながらローテーションを組んでいます。

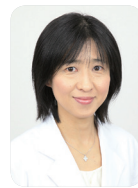
専門研修の募集について

新専門医制度の19基本領域のうち臨床検査を除く18基本領域で基幹型研修施設となっております。専門研修においては大学院に進学しつつ専門研修を行うアカデミックレジデント、専攻医の出産、育児を支援する育児支援制度である女性支援レジデント、海外留学支援制度などがあり、多彩なキャリア支援を行っています。基本領域ごとの専門研修プログラムの内容は総合臨床教育センターのホームページ内「後期専門研修」をご参照ください。

研修・認定施設一覧

主要学会全ての教育認定施設となっております。筑波大学附属病院ホームページでご参照ください。

病院からメッセージ



総合臨床教育センター部長
瀬尾 恵美子

筑波大学附属病院は、開院以来先進的な医学教育プログラムの構築に努めてきました。卒前、卒後、生涯教育を統括する総合臨床教育センターに専任教員を配置し、一人一人に最適な研修を提供できる環境を整えています。充実した指導体制・研修管理体制・教育資源を持つ大学病院と、common diseaseを中心に数多くの症例を経験できる協力型市中病院の両方の利点を取り入れた当院の研修プログラムは、研修医ごとに希望に合わせて組み立てられ、一人として同じ内容はありません。また、専門医の取得や大学ならではの研究医の養成、海外留学制度、女性医師の出産育児支援の充実など、臨床研修の先のキャリアの広がりも当院の研修の魅力です。ぜひ、医師としての第一歩を筑波大学附属附属病院で踏み出し、自分の目指すキャリアを実現させてください。



研修医
諫山 瑞紀

私は元々漠然と産婦人科に興味があり、その後学生実習でその興味を深め、将来産婦人科医を志しています。そして初期研修先を決める際に、出身大学である筑波大学附属病院の産科特別プログラムを選択し、現在研修しています。筑波大学附属病院を選んだ理由としては、出身大学だからという点もありますが、1番には、指導体制がしっかりしていることが挙げられます。指導医が指導するだけでなく、後期研修医から初期研修医へ、そして初期研修医から学生へ。誰もが後進を指導するという認識を持っており、そのような環境で研修を行うことで、2年間という短い初期研修を、より充実させることができている。筑波大学附属病院の初期研修は、自由度が高く、大学と市中病院両方を経験できるようなローテーションを組むことができます。例えば私は、必修内科6ヶ月の期間の中でも、産科的合併症の勉強のために内分泌代謝糖尿病内科は大学病院で研修したのに対し、一般的循環器管理をしっかり学んでおきたかったため、循環器内科については市中病院で研修しました。他にも、麻酔・全身管理の経験をより積むために、大学病院での麻酔科研修後に市中病院麻酔科でも研修します。このように、自分がやりたいことに最大限に沿ったローテーションを組むことができます。また、勉強会や学会にも参加する機会があり、積極的に参加することで、初期研修医のうちから、後期研修を見据えた勉強をすることができます。皆様と一緒に研鑽できるようにお待ちしております。